

ユーザーストーリー

— キンバが叶えてくれたこと（中） —

キンバとの思い出

Y様ご家族はキンバと出会い、子ども向けのコンサート・演劇・水族館や図書館など様々な場所に出掛けたそうです。

たくさんの思い出の中で、初めてお子様と遠出をした時の思い出を教えてくださいました。

特に思い出深いのは、初めての遠出。

移動支援サービスのワゴンにキンバと人工呼吸器・吸引機・人工肛門のケア用品・経鼻栄養など、大量の医療物品を乗せて水族館にでかけた時。

在宅医療生活では、人工肛門のストーマケア・経鼻栄養の注入・痰の吸引を常時行わなくてはならなかった。看護師さん3人分の仕事を、24時間、ほとんど妻と私が交代で寝ないで行っていた。それを行わなければならないので、水族館の部屋（会議室のような場所）をお借りした。大量の荷物を部屋に置かせてもらい、ケアとケアの間に水族館めぐりをした。キンバを押しながら、子供に見せたいものをじっくり見せることができた。イルカショーも観られた。

そして、昼食に初めてレストランを利用した。子供が生まれてから2年目、家族3人で初めての外出だった。

在宅医療をしていると、自分たちはゆっくりご飯が食べられない。子供にとろみのついた流動食を食べさせなくてはならないから。食べながら痰の吸引もしなくてはならないから。だから、レストランでも自分と妻は早く食べられるカレーにした。子供にひとしきり食べさせた後、心が落ち着いたので、カレーをたべた。

そうすると、急に、涙が溢れてきた。ついに家族で外出し食事ができて。

入院中も在宅医療も眠れずに辛かったが、その苦勞が吹き飛んだ。感動した。

今でも、その経験は忘れられない。

カレーであんなに泣いたことは、未だない！



1才 はじめての水族館



1才 ワゴン車にバギーを積んでお出かけ

Y様は、移動すること・見ること・聴くこと・体験することを通じて、お子様の脳の発達や心の豊かさを育むことができたことと仰っています。キンバという移動ツールがY様ご家族の外出を可能にし、それがお子様の様々な経験に繋がったこと。我々スタッフ自身が、製品の持つ本当の「意義」に改めて気付かされた、印象的なエピソードでした。